

50/60Hz

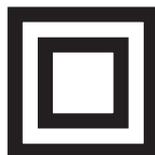
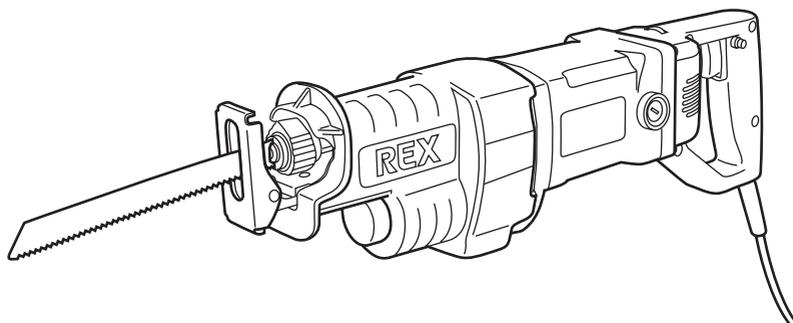
切断機

REX

ハイパーソー XS130S

XS130S

取扱説明書



二重絶縁



**ご使用前に必ず
お読みください**

—お願い—

- この取扱説明書は、お使いになる方に必ずお渡しください。
- 安全に能率よくお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
- なお、この取扱説明書は、お使いになる方が必要なときに、いつでも見られるところに大切に保管してください。

購入年月： 年 月

お買上げ店名：

- ・火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全にご使用いただくために」及び「ハイパーソー XS130S 使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ご使用前に、この「安全にご使用いただくために」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- ・この取扱説明書に記載されていること以外の取り扱いをしないでください。

目 次

安全にご使用いただくために	3
ハイパーソー XS130S の使用上のご注意	6
各部の名称・標準仕様	7
標準付属品・別売部品・用途	8
作業前の準備	9
ご使用前に	10
のこ刃の取付け方・取りはずし方	11
ベースの調整について	14
のこ刃スピードの調整について	14
切り方	15
保守・点検	17
修理をご依頼のときは	18

警 告 ， 注 意 ， の意味について

この取扱説明書では、注意事項を  警 告 と  注 意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

 警 告 : 誤った取り扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 注 意 : 誤った取り扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

なお、「 注 意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要は内容を記載しているので必ず守ってください。

- ・この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社の代理店・販売店にご注文ください。
- ・品質・性能向上あるいは安全上、予告なく使用部品や仕様の変更を行う場合があります。その際には本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

安全にご使用いただくために -1



- ①**作業場は、いつもきれいに保ってください。**
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ②**作業場の周囲状況も考慮してください。**
 - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③**感電に注意してください。**
 - ・ 電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
- ④**子供を近づけないでください。**
 - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤**使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
- ⑥**無理して使用しないでください。**
 - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦**作業に合った電動工具を使用してください。**
 - ・ 小型の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧**きちんとした服装で作業してください。**
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
- ⑨**保護メガネを使用してください。**
 - ・ 作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩**防音保護具を着用してください。**
 - ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪**コードを乱暴に扱わないでください。**
 - ・ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
 - ・ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

安全にご使用いただくために -2



⑫加工する物をしっかりと固定してください。

- ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

⑬無理な姿勢で作業をしないでください。

- ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。

⑭電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ・安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または当社営業所に修理を依頼してください。
- ・継ぎ（延長）コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。

⑮次の場合は、電動工具のスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・使用しない、または修理する場合。
- ・刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・その他、危険が予想される場合。

⑯調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。

- ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰不意な始動は避けてください。

- ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- ・屋外で継ぎ（延長）コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。

⑲油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ・常識を働かせてください。
- ・疲れているときは、使用しないでください。



⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。
- ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または当社営業所に修理を依頼してください。
- ・スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または当社営業所に修理を依頼してください。
- ・スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものは、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。

- ・この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・修理は、必ずお買い求めの販売店または当社営業所にお申し付けください。ご自身で修理すると、事故やけがの原因になります。

回 二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が、二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具で、この製品には“回”マークを表示しています。

二重絶縁工具は、感電に対し安全性が高められています。

異なった部品と交換したり、間違っても組立てると、二重絶縁構造ではなくなり、危険です。

電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は、お買い求めの販売店または当社営業所にご依頼ください。

ハイパーソーXS130Sの使用上のご注意

警告

- ①使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ②作業する箇所に、電線管・水道管やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
 - ・埋設物があると、のこ刃（ブレード類）が触れ、感電や漏電・ガス漏れの恐れがあり、事故の原因になります。
- ③使用中は、機体を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
- ④使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店または当社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用すると、けがの原因になります。
- ⑤誤って落としたり、ぶつけたときは、のこ刃（ブレード類）や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑥可燃性のガスのあるパイプは爆発の恐れがあるので、切断しないでください。
- ⑦のこ刃（ブレード類）でコードを切断しないよう注意してください。
 - ・感電の恐れがあります。

注意

- ①のこ刃（ブレード類）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。
- ②使用中は、のこ刃（ブレード類）や切粉の排出部に手や顔を近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
- ③使用直後ののこ刃（ブレード類）は高温になっているので、触れないでください。
 - ・やけどの原因になります。
- ④高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑤壁に隣接する鋼管の近くで作業する場合は、のこ刃（ブレード）の先端が当たらないように距離をあけてください。
 - ・のこ刃（ブレード）の折損する恐れがあります。

各部の名称・標準仕様

■各部の名称

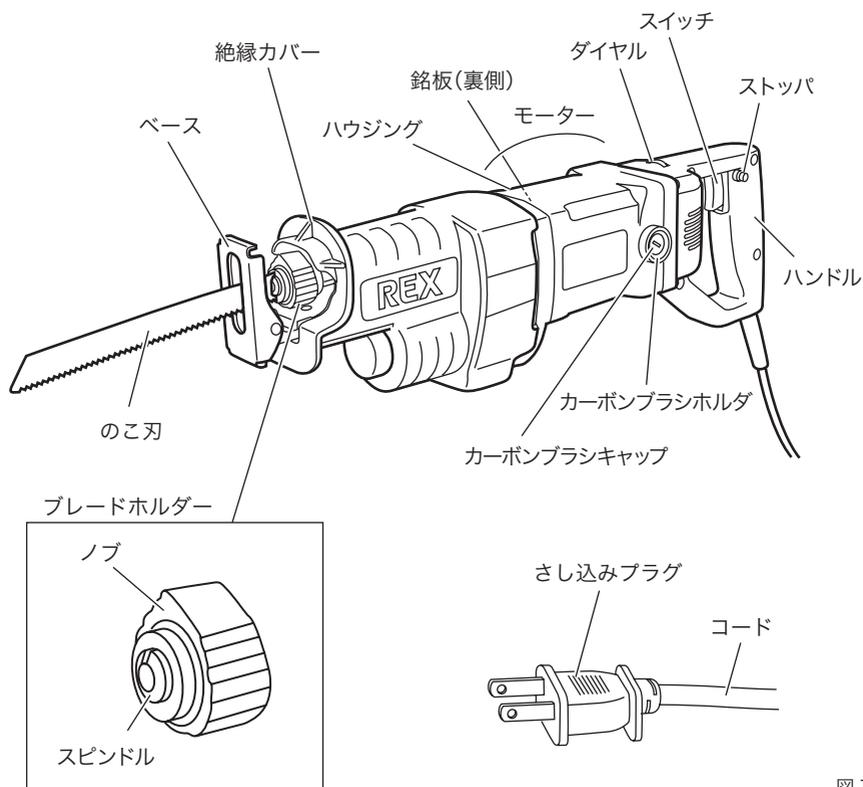


図 1

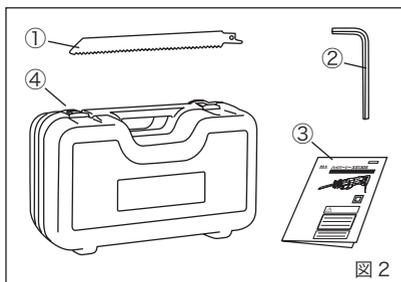
■標準仕様

使用電源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V
切断能力	軟鋼パイプ：外径 130 mm 塩ビパイプ：外径 130 mm 軟鋼材：厚さ 19 mm
モーター	単相直巻整流子モーター
消費電力	12 A - 1200 W
無負荷ストローク数	1000 ~ 2800min ⁻¹ (1000 ~ 2800 回 / 分)
ストローク	27 mm
質量	4.3 kg
コード	2心キャブタイヤケーブル 2.5 m

表 1

標準付属品・別売部品・用途

■標準付属品



- ①のこ刃 No.34…………… 1 個
- ②六角棒スパナ…………… 1 個
- ③取扱説明書…………… 1 冊
- ④キャリングケース…………… 1 個

■別売部品

別売部品は生産を打ち切る場合がありますので、ご了承ください。

各種のこ刃

作業の能率や仕上げを良くするには、加工物の材質や厚さに適したのこ刃を使うことが大切です。下表を参照し、加工物に適したのこ刃をご使用ください。

⚠ 注意

- ・表中の最大加工物寸法は、ベースの取付け位置をハイパーソー本体に最も近い位置に取付けた場合の寸法です。ベースをハイパーソー本体から遠ざけて取付けた場合は、最大加工物寸法が小さくなりますのでご注意ください。
- ・のこ刃は必ず純正品を使用してください。取付け部の寸法が異なると取付け出来ない場合があります。

品番	形式 (品名)	適用パイプ径 A (B)	長さ mm	山数 (山/インチ)	厚さ mm	幅 mm	用途	梱包数量
380041	コブラ ブレード	No.41	~ 50 (2)	14	0.9	18	鋼管 ステンレス管 軟鋼材	5 枚入り (1 パック)
380042		No.42	~ 100 (4)					
380045		No.45	~ 125 (5)					
380043		No.43	~ 50 (2)	18				
380044		No.44	~ 100 (4)					
380033	バイメタル ブレード	No.33	~ 50 (2)	14	0.9	18	鋼管 ステンレス管 軟鋼材	5 枚入り (1 パック)
380034		No.34	~ 125 (5)					
380035		No.35	~ 50 (2)	18				
380036		No.36	~ 125 (5)					

表 2

■用途

- ・各種鋼管、ステンレス鋼管、アングル材の切断
- ・各種合成樹脂管の切断
- ・軟鋼板、アルミ板の切断

作業前の準備

ご使用前に次の準備をすませてください。

1. 漏電しゃ断器の確認

この機体は二重絶縁構造で、法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが、万一の感電防止のため、漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2. 継ぎ (延長コード)

警告

・継ぎ (延長コード) は、損傷のないものを使用してください。

電源が離れているときは、電流を流すのに十分な太さの継ぎ (延長コード) をできるだけ短くして使用します。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm ²	10 m
2 mm ²	25 m
3.5 mm ²	45 m

左の表は、コードの太さ (導体公称断面積) によって、機体に使用できるコードの最大長さを示します。

これを超える長いコードを使用すると、電流が十分流れず製品の能率が落ち、故障の原因になります。

表 3

3. 作業環境の整備・確認

作業をする場所が 3 ページの「安全にご使用いただくために」①、②、④項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

警告

- ・ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については、さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に確認してください。

1. 使用電源を確かめる

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転が異常に速くなり、機体が破損する恐れがあります。

また、直流電源で使用しないでください。機体の損傷を生じるだけでなく、事故の原因になります。

2. スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源コンセントにさし込むと不意に機体が起動し、思わぬ事故のもとになります。スイッチ (P7 図 1 参照) は引くと入り、はなすと切れます。

スイッチを引き、はなしたとき戻ることを必ず確認してください。

3. のこ刃を取付ける

取付けは次項の「のこ刃の取付け方」をご参照ください。

4. 電源コンセントの点検

さし込みプラグをさし込んだとき、電源コンセントがガタガタだったり、さし込みプラグがすぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになると、過熱して事故の原因になります。

のこ刃の取付け方・取りはずし方 -1

⚠ 警告

- ・ のこ刃の取付け・取りはずしをする際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。思わぬ事故のもとになります。

この機体は、スパナやレンチなどの工具を使用しなくてもものこ刃の取付けと取りはずしができるツールレス着脱機構を採用しています。

1. のこ刃の取付け方

- (1) スイッチ引金の入り切りを繰り返して、ノブが絶縁カバーから飛び出した状態にします。(図3) その後、スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

⚠ 警告

- ・ のこ刃の取付け・取りはずしをする際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。思わぬ事故のもとになります。

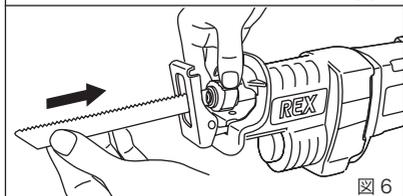
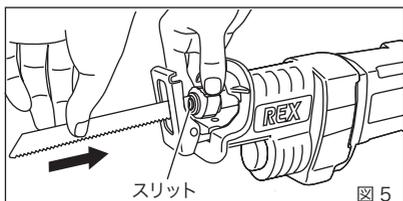
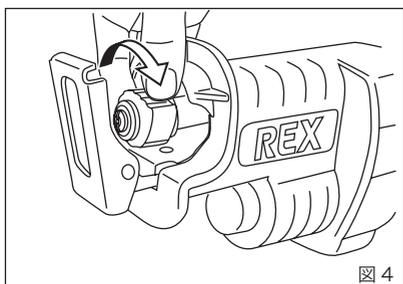
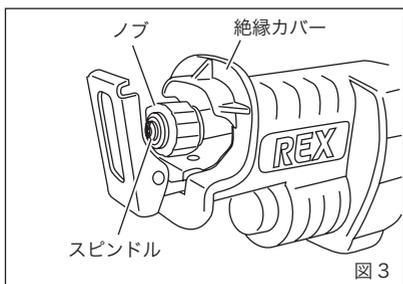
- (2) ノブを図4の矢印の方向に回してください。(図4)

- (3) ノブを回転させてまま、のこ刃をスピンドル先端のスリットの奥までさし込んでください。のこ刃は上下どちらの方向にも取付けることができます。(図5、図6)

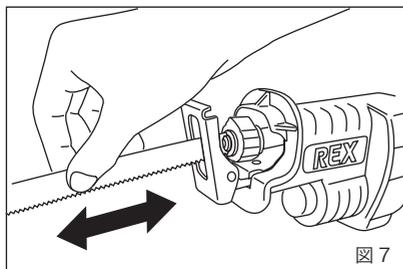
- (4) ノブから指をはなすとスプリングの力で自動的に戻ります。

⚠ 警告

- ・ のこ刃を引張るときは、必ずのこ刃の背面を引張ってください。刃のついている部分を引張ると、けがの原因になります。

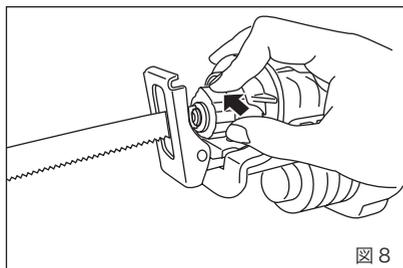


のこ刃の取付け方・取りはずし方 -2

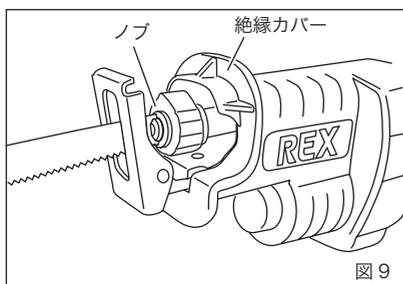


2. 取付け時の確認

- (1) のこ刃の背面を指で2～3回引張り、のこ刃が確実に取付けられたことを確認してください。のこ刃を引張ったときに「カチャ」と音がすれば、確実に取付けができています。(図7)



- (2) ホコリやその他の影響でノブの戻りが悪い場合が考えられますのでノブは図8の矢印の方向に指で軽く押してください。(図8)

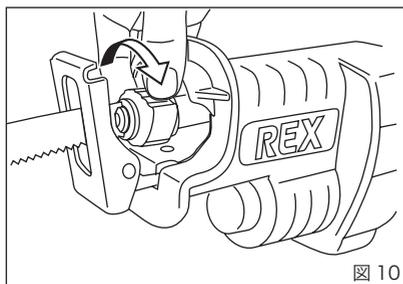


3. のこ刃の取りはずし方

スイッチ引金の入り切りを繰り返して、ノブが絶縁カバーから飛び出した状態にします。(図9)

その後、スイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

ノブを図10の矢印の方向に押し下げてから、のこ刃を下に向けてください。のこ刃は自然に落下します。自然に落下しない場合は、のこ刃を指で引張って取りはずしてください。



⚠ 警告

- ・ のこ刃の取りはずしをする際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。思わぬ事故のもとになります。

⚠ 注意

- ・ 使用直後ののこ刃は高温になっているので触れないでください。やけどの原因になります。

のこ刃の取付け方・取りはずし方 -3

のこ刃が折れた場合

のこ刃が折れてスピンドルのスリットの内部に残ってしまった場合、通常はノブを図 10 の矢印の方向に回してから、のこ刃を下に向けることにより折れたのこ刃は自然に落下します。自然に落下しない場合は次のようにして取りはずしてください。

- (1) 折れたのこ刃の一部がスピンドルのスリットから飛び出している場合は、ノブを回して飛び出している部分を引張って取りはずしてください。
- (2) 折れたのこ刃がスリットの内部にかくれている場合は、図 11 のようにノブを矢印の方向に回して別ののこ刃の先端部分を使って、折れたのこ刃を引っかけて取りはずしてください。

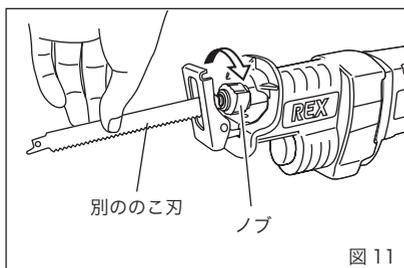


図 11

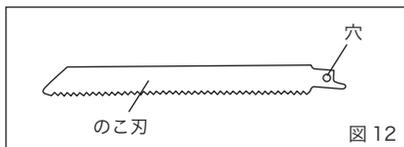


図 12

4. のこ刃取付け部の保守・点検について

⚠ 警告

- ・穴部が摩耗したのこ刃を使用しないでください。(図12)はずれたりし、けがの原因になります。

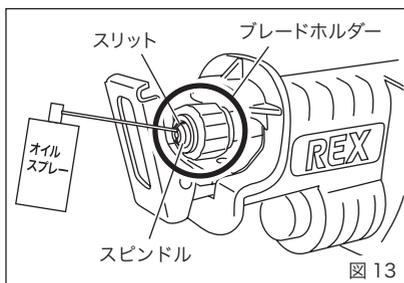


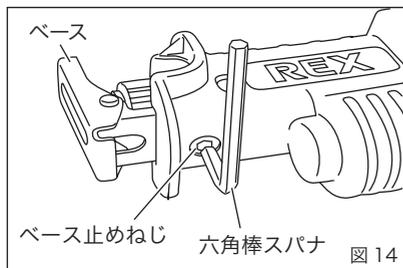
図 13

- (1) ブレードホルダ部がいつも円滑に動くように、ご使用後は切粉・土・砂・水分などをエアで吹き飛ばすか、ブラシなどで清掃してください。
- (2) 図 13 のように、スピンドルの先端のスリット部から防錆・潤滑に優れたオイルスプレーなどで定期的に注油してください。

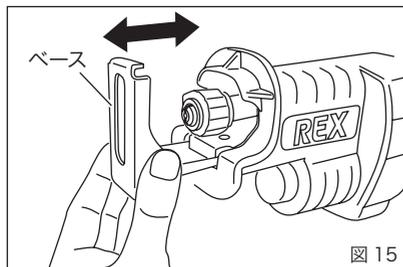
⚠ 注意

- ・ブレードホルダ部の清掃や注油をしないで使用すると、切粉や粉じんによりノブの動きが重くなることがあります。

ベースの調整について



- (1) ベース止めねじを付属の六角棒スパナでゆるめて、ベースの取付け位置を調整します。
(図14、図15)



- (2) ベースを調整 (図15) した後、ベース止めねじを付属の六角棒スパナで十分に締付けてください。

のこ刃スピードの調整について

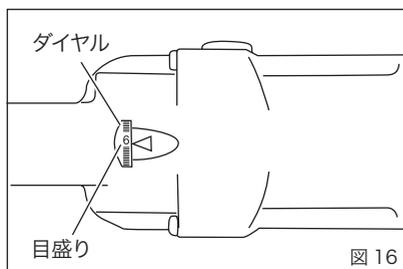
のこ刃スピードの調整

この機体は、のこ刃のスピードを無段階に調整できる電子制御回路を内臓しています。

切断材料の例	推奨ダイヤル目盛り
鉄パイプ	2～6
鋳鉄管・L形アングル	2～5
ステンレス	1～2
アルミ・黄銅・銅	2～5
樹脂パイプ	1～4

表 4

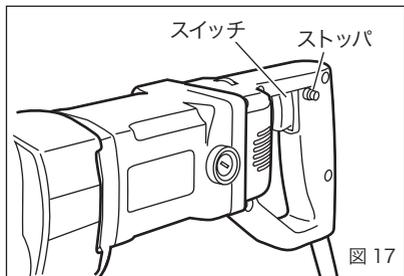
ダイヤルの目盛り“6”が最高速で、“1”が最低速です。表4を目安として、切断材料に合ったスピードでご使用ください。



注意

- ・切断中にのこ刃が停止するような無理な使い方は避け、常に滑らかに切断できるように、のこ刃スピードを調整してください。モーターに無理がかかり、焼損の原因になります。

切り方 -1



1. スイッチのストッパについて

スイッチは引くと入り、ストッパ（図 17）を押すと指をはなしてもスイッチは入ったままになっており、連続作業に便利です。スイッチを切るときは、再び引いてください。ストッパは自動的にはずれます。

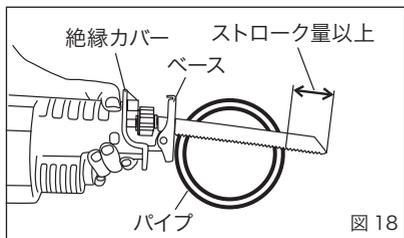
2. スロースタートについて

この機体は、スイッチを入れたとき、ゆっくりと動きだすようになっています。

3. 切断作業

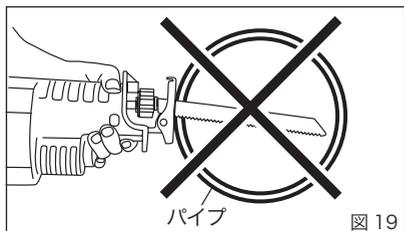
⚠ 警告

- ・ 絶縁カバーをはずさないでください。必ず絶縁カバーの上から機体を保持してください。
- ・ のこ刃を付けた状態で空運転（無負荷回転）は、絶対に行なわないでください。必ずのこ刃を切断材料に軽く当たった状態から運転を開始してください。空運転すると、のこ刃が大きく振れて折れる場合があり、事故やけがの原因になります。
- ・ 使用中はベースを切断材料に押し当てて切断してください。しっかり押し当てないと振動により、のこ刃を損傷することがあります。
- ・ のこ刃の長さは、図 18 に示すようにストローク量をさし引いたのこ刃のベースから飛び出し長さが、切断材料より十分大きくなるように選んでください。（P8 表 2 参照）のこ刃の切断能力以上の太いパイプを切断すると、のこ刃先端がパイプ内壁に当たってのこ刃を折損する恐れがあります。（図 19）
- ・ 能率よく切断するために、のこ刃のスピードを作業条件、切断材料に合わせて調整してください。



⚠ 注意

- ・ 作業のときにはスピンドル部から切粉・土・砂・水分などが機体内部に入らないように注意してください。切粉などがスピンドル部にたまるときには、その都度、清掃しながら作業してください



⚠ 警告

- ・ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。不意な始動により、思わぬけがの原因になります。
- ・ さし込みプラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

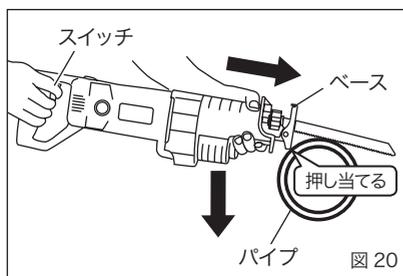
のこ刃の適用パイプ径については、「P8 表 2」をご参照ください。

切り方 -2

⚠ 注意

- ・切断のときに無理な力を加えないでください。のこ刃を折損する恐れがあります。
- ・ベースを切断材にしっかり押し当ててください。

(1) 加工物をしっかり固定して作業してください。



(2) ベースを加工物（パイプ）にしっかり押し当て、のこ刃を加工物に軽く押し当てた状態でスイッチを入れ、徐々に切り込んでいきます。（図 18）

⚠ 注意

- ・切り込み時に刃が振れて狙いの位置に切り込むことが難しい場合は、ダイヤル目盛りを少し低速にしてから切断を開始し、ある程度切り込みの溝が出来てから高速にしてください。

(3) 金属切断の場合は切削油（タービン油など）を使用してください。液状の切削油を使用しない場合は、グリースを加工物に塗ってください。

⚠ 注意

- ・切削油を使用しないと、のこ刃の寿命が極端に短くなります。

(4) のこ刃のスピードは作業条件、切断材料に合わせてダイヤルの目盛りを調整してください。

4. 過負荷保護回路について

この機体は、モータ保護として、過負荷保護回路を内蔵しています。切断時の負荷が一定以上に達すると自動的に電源を切り、焼損を防止します。

この時は直ちにスイッチを切り、しばらく切断作業を行わないでください。その後、機体に異常が無いか確かめてから切断作業を再開してください。再度、スイッチを入れますと正常に運転できますが、負荷が大きくなるように注意して切断を行ってください。

保守・点検 -1

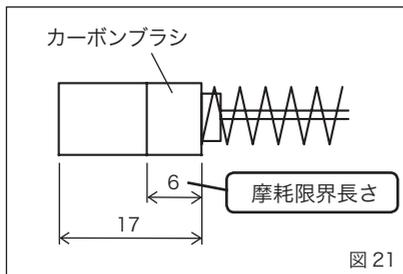
⚠ 警告

- ・点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源コンセントから抜いてください。

1. のこ刃の点検

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのまま使用すると、モーターに無理をかけることになり、効率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2. カーボンブラシの点検



モーター部には、消耗品であるカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モーターの故障の原因となります。

長さが摩耗限度（6mm）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また、カーボンブラシはごみなどを取り除いてきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしてください。

交換方法

カーボンブラシは、マイナスドライバーなどでカーボンブラシキャップ（P7 図 1）をはずすと取り出せます。

⚠ 注意

- ・カーボンブラシは両方とも交換してください。
- ・カーボンブラシは必ず当社指定品を使用してください。

3. 各部取付けねじの点検

各部取付けねじでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締め直してください。ゆるんだままお使いになりますと危険です。

4. モーター部の取扱いについて

モーター部の巻線は機体の重要な部分です。巻線に傷、洗油および水をつけないよう十分注意してください。

⚠ 注意

- ・ごみやほこりを排出するため、50 時間ぐらい使用しましたら、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジングの風穴から吹き込んでください。モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

保守・点検 -2

5. 表面とブレードホルダ部のよごれの清掃と注油

機体の外枠は強じんな合成樹脂製ですが、ガソリン、シンナー、石油、灯油類を付着させると表面をいためます。清掃の場合は、乾いた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

⚠ 注意

- ・作業終了後、ブレードホルダ部・スピンドル部（図 13 参照）に切粉・土・砂・水分などを付着したままにしておくとブレードホルダ部・スピンドル部がさびついて機体内部の故障の原因になるので、必ず清掃し、防錆・潤滑に優れたオイルスプレーなどで注油した後に保管してください。

6. 機体や付属品の保管

機体や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ・お客様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所
- ・軒先など雨がかったり、湿気のある場所
- ・温度が急変する場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

修理をご依頼のときは

この機体は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をなさらないで、下記のところにご依頼ください。

最寄の { レッキス製品取扱店
レッキス工業営業所（裏表紙参照）
レッキステクノサービス部 072-963-1960 }

その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上でご不明の点がございましたら遠慮なくお問い合わせください。

メンテナンス部品の保有期間について	この製品のメンテナンス部品の供給は製造停止後7年とします。ただし電子部品は5年とします。
-------------------	--

保証・免責事項について

- ①本品は正常な使用状態において万一故障した場合、下記により無償修理またはサービス部品を無償供給します。
- 無償修理保証期間はご購入後1年です。
 - 修理・サービス部品供給については、お客様との打合せにより日程・手順・方法等を決定し対応します。
- ②有償修理について
- 無償修理保証期間をすぎた時は修理・サービス部品供給は全て有償になります。
 - 無償修理保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - (イ) 本取扱説明書通り取扱わない場合
 - (ロ) 用途以外に使用した場合
 - (ハ) 本取扱説明書通りに修理しなかった場合、また改造した場合
 - (ニ) 刃物または消耗部品の場合
 - (ホ) 非常に過酷な使い方をした場合
- ③次の場合は当社は一切責任を負いません。
- (イ) 火災、水害、地震、落雷、その他の天災地変、および公害や異常電圧による不具合または事故
 - (ロ) 本取扱説明書通りに取扱わない場合
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造を行なった場合
- ④本品に関して当社の費用負担が生じた時の負担額は、いかなる場合も本品のご購入価格以下とします。

REX

www.rexind.co.jp

レッキス工業株式会社

東京支店	〒177-0032	東京都練馬区谷原5丁目13番30号	Tel.03(5393)6011
大阪支店	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(961)1201
札幌営業所	〒006-0832	札幌市手稲区曙2条4丁目3番31号	Tel.011(682)3711
仙台営業所	〒984-8651	仙台市若林区卸町3丁目1番13号	Tel.022(232)1697
東京営業所	〒177-0032	東京都練馬区谷原5丁目13番30号	Tel.03(5393)6011
前橋営業所	〒371-0846	群馬県前橋市元総社町932番8号	Tel.027(253)8691
神奈川営業所	〒243-0804	神奈川県厚木市関口150番地の1	Tel.046(245)3981
名古屋営業所	〒454-0806	名古屋市中川区澄池町9番3号	Tel.052(351)1551
大阪営業所	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	Tel.072(961)1201
広島営業所	〒731-5115	広島市佐伯区八幡東4丁目3番8号	Tel.082(927)9591
九州営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野3丁目18番26号	Tel.092(583)1110
本社	〒542-0086	大阪市中央区西心斎橋1丁目4番5号	
工場	〒578-0948	東大阪市菱屋東1丁目9番3号	

お客様相談窓口

☎ 0120-475-476

受付時間：月～金・9:00～12:00 13:00～17:00

●商品の仕様は予告なく変更することがあります。

HPY01-J1